

2021年6月18日

秋 田 さ き が け



高橋光規さん



山田学さん

山田さん、高橋さんに奨励賞

山下太郎
顕彰育英会

文化賞は2団体

一般財団法人・山下太郎顕

彰育英会（横手市大森町、山下和男理事長）は17日、理事会を開き、本年度の学術研究奨励賞を2人に、地域文化奨励賞を2団体に贈ることを決めた。授与式は7月4日、同市大森町の山下記念館で行

う。

第32回学術研究奨励賞（副賞100万円）に選ばれたのは、秋田大大学院理工学研究科の講師山田学さん（38）
秋田市出身と、山梨大大学院総合研究部医学域の特任助教高橋光規さん（35）
大仙市出身。

山田さんは、有機化合物のサイズや形状を見極めて内部に取り込む性質を持つ結晶の開発に成功。この性質を利用することで石油やプラスチック、医薬品の生産に役立つと期待される。

高橋さんは、神経活動による動物の行動制御メカニズム

を明らかにするため、光によって細胞の機能や行動を制御できることを示した。生物学と化学の分野を横断した研究に取り組んでいる。

第30回地域文化奨励賞（副賞30万円）には、県内各地の民俗芸能や民俗に関わる文書の収集・調査を行う「あきた民俗懇話会（齊藤壽胤代表）、由利本荘市とにかほ市で地域史を構成する伝承など多方面にわたる調査研究を行う「本荘由利地域史研究会」（佐藤俊介代表）が選ばれた。

顕彰育英会は、横手市大森町出身の実業家で海外油田開発の先駆者、山下太郎氏（1889～1967年）の遺志を継いだ文字夫人（故人）が提供した10億円で1989年に設立された。
（伊藤寛明、阿部拓郎）